

2011年10月7日
日本銀行決済機構局

次世代RTGS対応（第2期対応）にかかる 総合運転試験（運用確認試験）第2回の結果について

2011年9月19日（月、祝）に実施した、次世代RTGS対応（第2期対応）にかかる総合運転試験（運用確認試験）第2回の試験結果の概要は次のとおりです。

—— 運用確認試験第2回は、月末日に次ぐ大口内為取引の繁忙日を想定（想定日は2011年7月20日）した事務フローを実際に行い、第1回と同様に、第2期対応後の当座勘定（同時決済口）の決済環境に応じた所要資金の準備や決済の進捗管理等にかかる実務運用の確認・習熟を図る試験です。

1. 試験結果の概要

○ 本試験は、全ての参加予定先（218先）および全国銀行資金決済ネットワーク（全銀ネット）が参加して行われました。

○ システム環境面では、日本銀行側、全銀ネット側、利用先側ともに大きな問題なく終了しました。

—— なお、個別の参加先において、システム環境の設定ミスがみられましたが、第2期対応に向けて特段問題ないことが確認されています。

○ 試験内容面では、当座勘定（同時決済口）における決済は、大口内為取引、市場取引、外為円取引のいずれも円滑に決済が進捗しました。

—— 試験参加先から受領した結果報告書の集計結果は別紙1、運用確認試験における決済データの集計結果は別紙2のとおりです。

○ このうち、大口内為取引についてみると、加盟銀行が全銀システムに対して大口内為取引電文を送信するタイミングは、早期化する傾向にありました¹。また、当該電文の日銀ネット上における待機時間は短い時間に収まっています。大口内為取引の決済方式が時点ネット決済からRTGSに変更される中で、こうした電文送信タイミングの早期化や短い待機時間での決済が実現されたことから、同取引の決済は全体として大幅に早期化されることが確認できました。

—— 全銀ネットによる大口内為取引に関する評価は別添1のとおりです。なお、大口内為取引の支払指図の送信ならびに資金決済に関する申合せについては、運用確認試験第2回の結果も踏まえて、改めて評価することとされていましたが、運

¹ 大口内為取引が内国為替制度における仕向超過額管理の対象外となること、その主な要因と考えられる。

用確認試験全2回を通じて、問題はないと評価されています。

- また、市場取引および外為円取引についてみると、本試験における決済進捗は、想定日と概ね同程度となりました。したがって、これらの取引では、第1回と同様に、大口内為取引が当座勘定（同時決済口）における決済処理の対象となる第2期対応後においても、現行と同程度の決済進捗が維持できるものと考えられます。

—— 短期金融市場取引活性化研究会による市場取引に関する評価は別添2、全国銀行協会による外為円取引に関する評価は別添3のとおりです。

2. 今後の予定

- 運用確認試験第1回および第2回の結果を踏まえると、「第2期対応後の当座勘定（同時決済口）の決済環境に応じて、所要資金の準備や決済の進捗管理等に係る実務運用の確認・習熟を図る」という所期の目的は達成されたと考えられます。このため、予備日（10月16日（日））を用いた追加の運用確認試験は実施しないこととします。
- また、日本銀行における第2期対応の稼働開始日直前に実施する移行作業等に関して、当座勘定（同時決済口）を開設している金融機関等（開設予定先を含みます。）に対して、10月7日付で別途通知しています（日銀決第8号）。試験参加先のうち、特に内国為替制度の清算参加者および第2期対応の稼働と同時に日銀ネットコンピュータ接続にかかる接続仕様の変更等を予定している先においては、上記通知も参照のうえ、引き続き、稼働開始に向けて準備を進めるようお願いします。

<本件に関する照会先>

日本銀行 決済機構局 決済システム課 決済企画グループ

代表電話番号 03-3279-1111

西澤（内線 2957）、土屋（内線 2963）

以 上

運用確認試験第2回結果報告書の集計結果

< 貴社において事前に予定していた試験内容を問題なく実施できましたか。 >

問題なく実施できた	一部実施できなかった
217 (99.1%)	2 (0.9%)

(注) 括弧内はR T全参加先に占める構成比。

< 問題のあった点、実施できなかった点、ご意見・質問等 (抜粋) >

試験環境の準備	システムの設定ミスにより、試験開始時刻 (9 時 00 分) からCPU接続での試験参加ができなかった。その後、設定ミスを解消し、CPU接続での試験を実施。試験内容への大きな影響はなかった。
試験手順の誤り等	取引相手の実施手順書の理解不足により、予定されていた入金が行われない取引があった。
	試験手順の理解不足により、予定していた送金を行えない取引があった。
	ミスにより、大口内為取引において、逆為替が順為替として送られてきた取引があった。

運用確認試験第2回における決済データの集計結果

1. 当座勘定(同時決済口)における取引件数および金額

		運用確認試験第2回	(参考)想定日(7月20日)
大口内為取引	件数	12,825	12,694
	金額	9兆円	9兆円
市場取引	件数	5,256	5,382
	金額	33兆円	34兆円
外為円取引	件数	25,364	25,669
	金額	15兆円	15兆円
合計	件数	43,445	43,745
	金額	57兆円	58兆円

- (注)1. 市場取引は「振替依頼(同時決済口)」、「振替依頼・付記電文付(同時決済口)」、大口内為取引は「振替依頼・内国為替(同時決済口)」、外為円取引は「CUSTOMER TRANSFER (QUEUE OFFSET)」、「BANK TRANSFER (QUEUE OFFSET)」を対象として集計。以下同様。
2. 取り消された取引は含まない(自動取消された取引も含まない)。以下同様。
3. 運用確認試験では原則として想定日の取引データを利用することとしているが、希望先同士が各自調整のうえ、予め合意した仮想データを利用することは妨げていない。このため、運用確認試験の決済データには、想定日で行われていない取引が含まれる。
4. 想定日の決済データには、運用確認試験に参加していない先の取引を含む。

2. 平均送信時刻および平均決済時刻

		運用確認試験第2回	(参考)想定日(7月20日)
大口内為取引	平均送信時刻	10:33	10:43
	平均決済時刻	10:34	16:15
市場取引	平均送信時刻	11:03	11:19
	平均決済時刻	11:07	11:24
外為円取引	平均送信時刻	10:57	11:02
	平均決済時刻	11:02	11:07
合計	平均送信時刻	10:57	11:09
	平均決済時刻	11:00	12:04

- (注)1. 想定日における大口内為取引の平均送信時刻は、先日付電文の送信時刻を内国為替制度上有効となる時点、すなわち、全銀ネットが債務の引受けおよび債権の取得を行う全銀システムの通信開始時点(想定日では8:30)とみなして算出している。
2. 想定日における大口内為取引は、為替決済により、全ての取引が一律決済開始時刻(想定日では16:15)に決済されている。
3. 平均時刻は、決済金額により加重している。すなわち、(金額と時間の積の総合計)/(金額の総合計)として算出。以下同様。
4. 運用確認試験では、当座勘定(同時決済口)の終了時刻を15:30と設定している。これに伴い、運用確認試験では、指図投入時刻が14:00～15:00の取引は一律14:00に、指図投入時刻が15:00～16:30の取引は一律「1時間早い時間」に読替えを行っている。

3. 平均待機時間

	運用確認試験第2回	(参考)想定日(7月20日)
大口内為取引	0:01:04	—
市場取引	0:03:29	0:05:04
外為円取引	0:04:32	0:05:08
全体	0:03:23	—

- (注)1. 待機時間は、当座勘定(同時決済口)に指図が投入されてから決済されるまでの時間。
2. 平均待機時間の単位は、「時:分:秒」。

4. 待機時間別決済件数(構成比)

	運用確認試験第2回			(参考)想定日(7月20日)	
	大口内為取引	市場取引	外為円取引	市場取引	外為円取引
待機なし	88.0	83.9	87.3	79.8	85.3
～15分	11.2	10.5	9.5	12.1	8.6
～30分	0.6	4.1	2.8	4.0	4.7
～60分	0.1	1.5	0.4	3.8	1.3
60分以上	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0

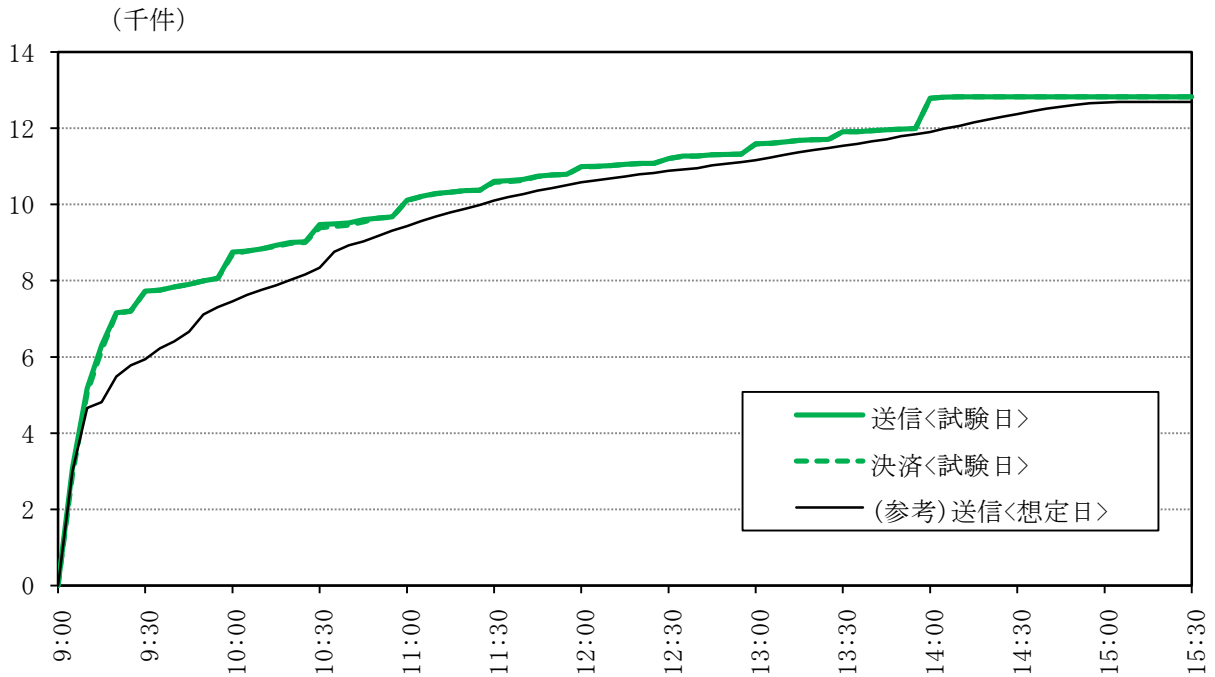
- (注)1. 「～15分」には、日銀ネット上の受付時刻と決済時刻が同一である待機後・単独決済および待機後・二者間同時決済処理の取引を含む。

運用確認試験第2回における決済データの集計結果

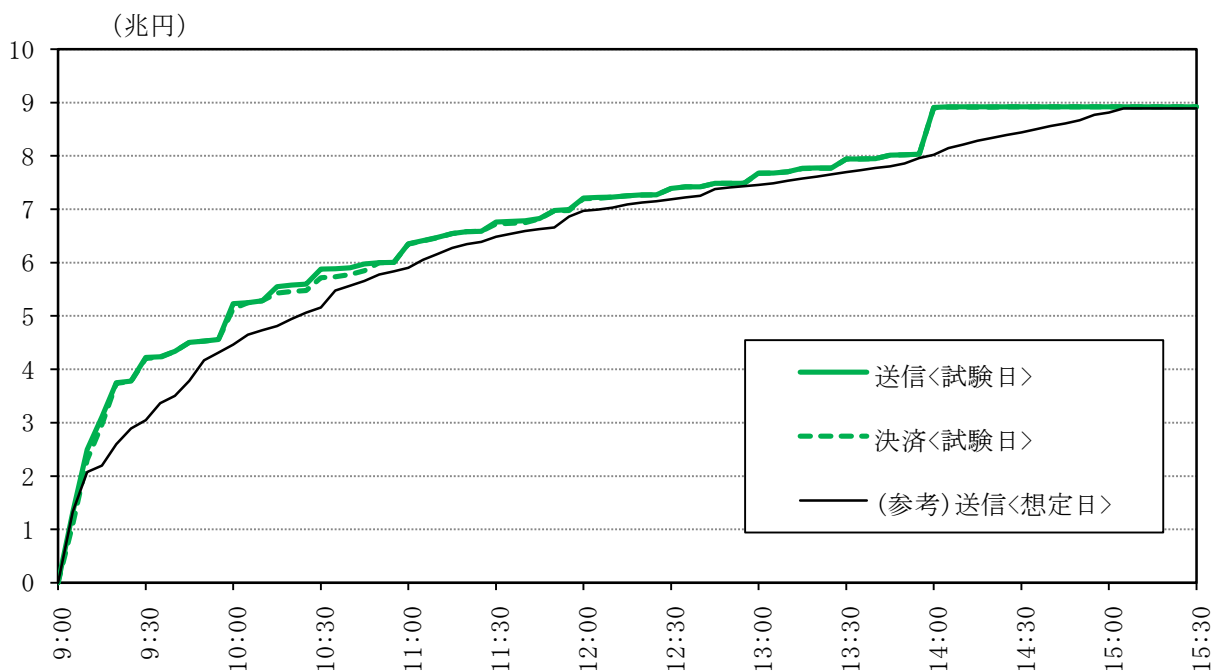
5. 運用確認試験第2回における決済進捗

(1) 大口内為取引

① 件数ベース



② 金額ベース



(注) 1. 運用確認試験では、当座勘定(同時決済口)の終了時刻を15:30と設定している。これに伴い、運用確認試験では、指図投入時刻が14:00～15:00の取引は一律14:00に、指図投入時刻が15:00～16:30の取引は一律「1時間早い時間」に読替えを行っている。

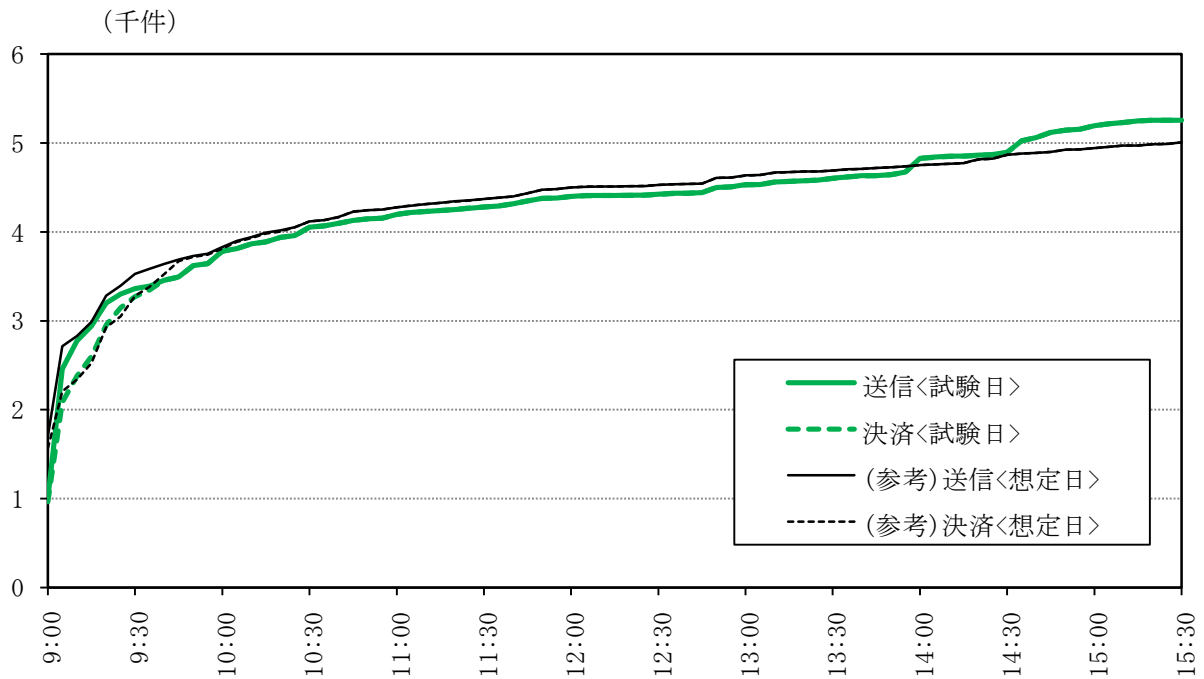
2. 全銀システムが加盟銀行から受信した取引は、全銀システムが予め設定した一定の送信ペースを超えない範囲で全銀システムから日銀ネットに順次送信される仕様。想定日の決済進捗もこれを前提として算出している。

運用確認試験第2回における決済データの集計結果

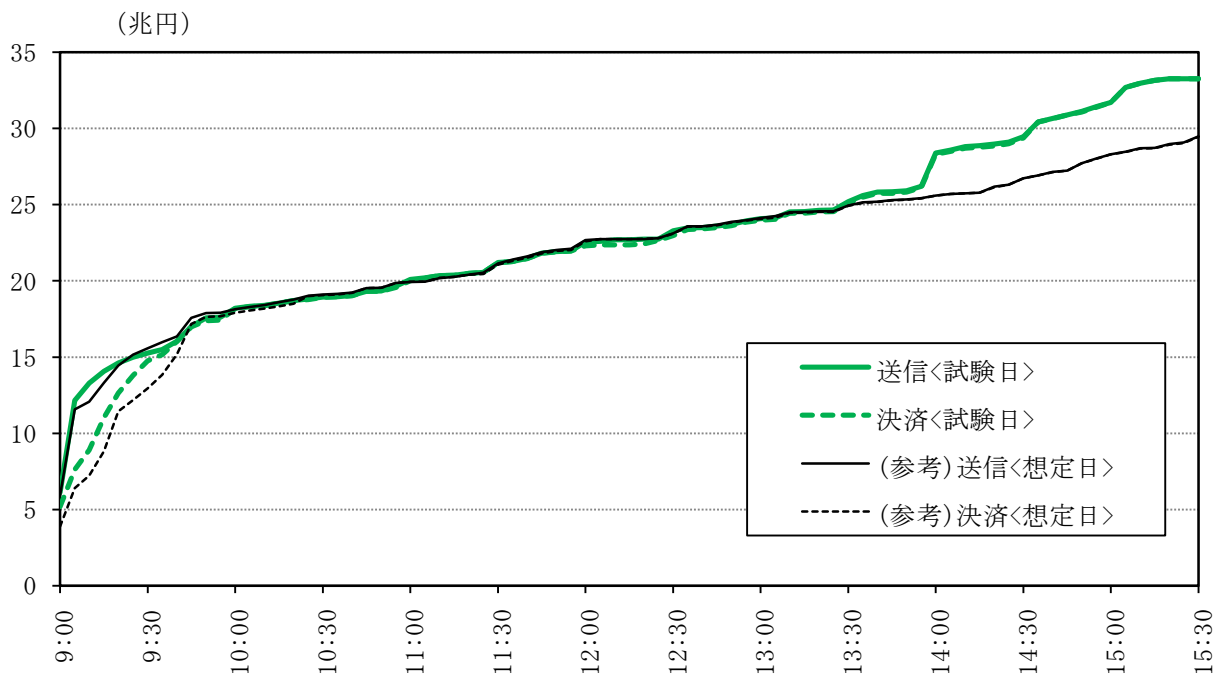
5. 運用確認試験第2回における決済進捗

(2) 市場取引

① 件数ベース



② 金額ベース



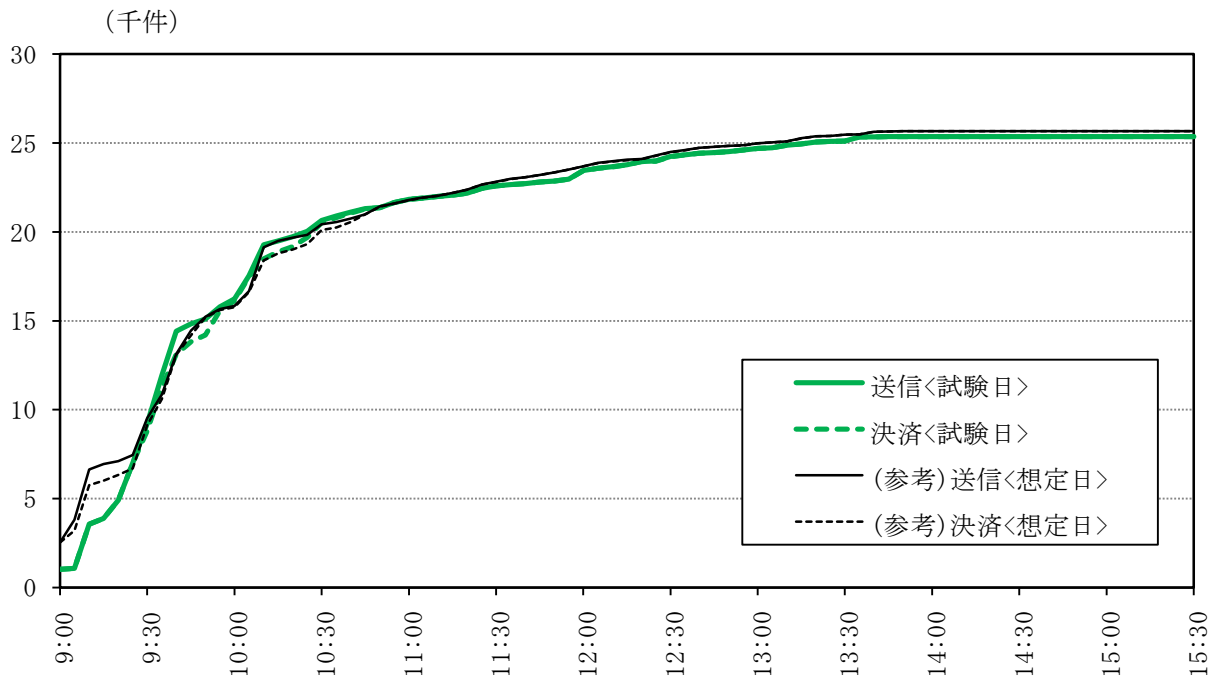
(注) 1. 運用確認試験では、当座勘定(同時決済口)の終了時刻を15:30と設定している。これに伴い、運用確認試験では、指図投入時刻が14:00～15:00の取引は一律14:00に、指図投入時刻が15:00～16:30の取引は一律「1時間早い時間」に読替えを行っている。

運用確認試験第2回における決済データの集計結果

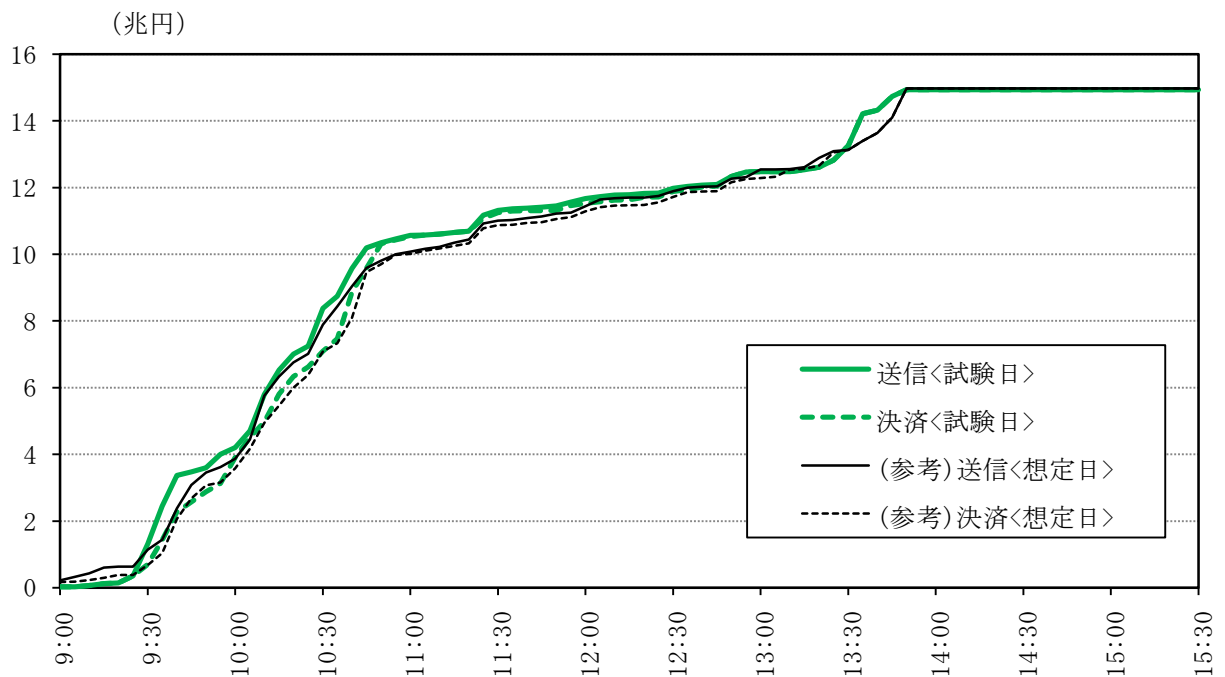
5. 運用確認試験第2回における決済進捗

(3) 外為円取引

① 件数ベース



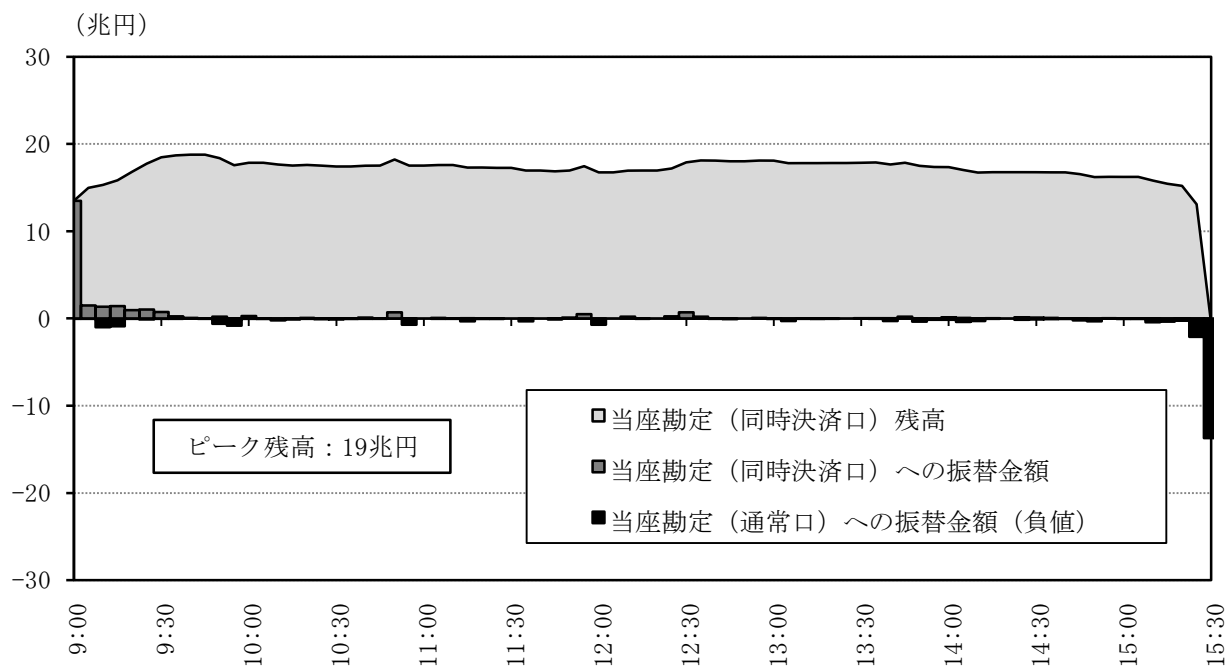
② 金額ベース



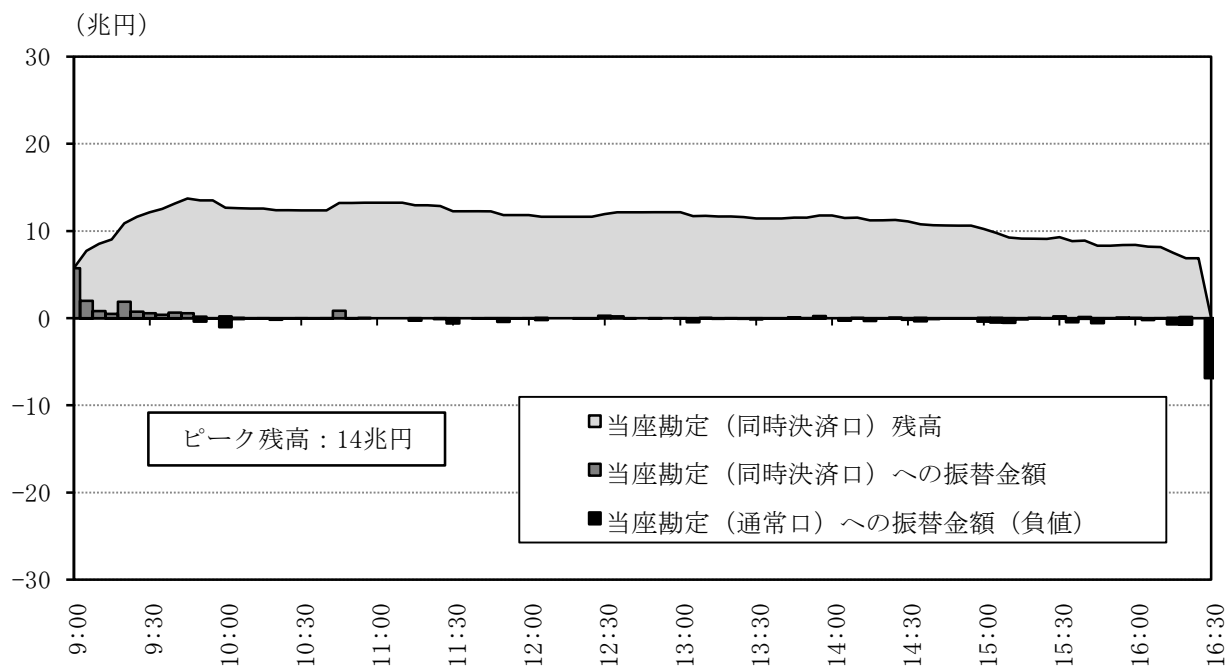
(注) 1. 運用確認試験では、当座勘定(同時決済口)の終了時刻を15:30と設定している。これに伴い、運用確認試験では、指図投入時刻が14:00～15:00の取引は一律14:00に、指図投入時刻が15:00～16:30の取引は一律「1時間早い時間」に読替えを行っている。

運用確認試験第2回における決済データの集計結果

6. 運用確認試験第2回における当座勘定(同時決済口)残高の日中推移



(参考) 想定日(7月20日)における当座勘定(同時決済口)残高の日中推移



- (注) 1. 運用確認試験では、当座勘定(同時決済口)の終了時刻を15:30と設定している。これに伴い、運用確認試験では、指図投入時刻が14:00～15:00の取引は一律14:00に、指図投入時刻が15:00～16:30の取引は一律「1時間早い時間」に読替えを行っている。
 2. 運用確認試験の決済データからは、自己勘定間振替の金額が極端に大きい取引(1件5兆円以上)を一律控除している。

7. 決済用資金の回転率

	(倍)	
	運用確認試験第2回	(参考) 想定日(7月20日)
回転率	3.0	3.5

- (注) 1. 回転率は、決済金額/当座勘定(同時決済口)残高のピーク金額

次世代 RTGS (第 2 期対応) 運用確認試験 第 2 回結果 (大口内為)

○次世代 RTGS (第 2 期対応) 運用確認試験第 2 回 (9 月 19 日 (月・祝) 実施) 結果

結果	<ul style="list-style-type: none">・ 平 23 資業全第 69 号により参加者宛に依頼したアンケートについて、全参加者から回答があった。・ 全先から、シナリオに沿って問題なくテストが実施できた旨、ならびに大口内為取引の支払指図の送信ならびに資金決済に関する申合せに即した為替交換ならびに決済が問題なく実施でき旨の回答があった。・ 全銀センタにおける処理、全銀センタから日銀ネットへの電文の送信は、問題なく行われた。
考察	<ul style="list-style-type: none">・ 運用確認試験第 2 回の結果については、上記結果から、内国為替制度の観点からは特段の問題はなかったものと評価する。

○大口内為取引の支払指図の送信ならびに資金決済に関する申合せについての評価

大口内為取引の支払指図の送信ならびに資金決済に関する申合せについては、運用確認試験第 1 回時に、運用確認試験第 2 回の結果も踏まえて評価することとしていた。

運用確認試験第 1 回では、参加者が第 2 期対応後に想定している電文送信タイミングにて送信し、大口電文は第 2 期対応前と比して早い時間に全銀センタに到着したことにより、日銀ネット開局前に全銀センタにおいて保留となっていた電文の処理に一定の時間を要したが、

－先日付分の処理は午前 9 時までに完了していること

－日銀ネット開局前に全銀センタにおいて保留となった電文の処理に一定の時間を要した原因が、加盟銀行からの電文送信の早期化であるため、被仕向銀行への入金
は現行より早期化されていると考えられること

から、運用確認試験第 1 回時の試験結果に記載のとおり、問題はなかった。

運用確認試験第 2 回では、第 1 回目と同様、加盟銀行からの電文送信は早期化されたものの、想定日が通常日であったこともあり、日銀ネット開局前に全銀センタにおいて保留となっていた電文の処理は、日銀ネット開局後時間をおかず処理され、問題はなかった。

以上を踏まえ、運用確認試験を通じて、かかる申合せについて、問題はないと評価する。ただし、第 2 期対応後の実際の処理状況については引続き注視し、必要に応じ対応を検討することとする。

以 上

平成23年10月4日
短期金融市場取引活性化研究会

**次世代 RTGS 第2期対応 第2回総合運転試験 (9月19日実施)
市場取引に関する評価について**

1. 評価

(1) 評価

市場取引に関しては、短期金融市場取引活性化研究会（以下、当研究会）が実施したアンケート調査および「運用確認試験第2回における決済データの集計結果」より、第2期対応後の決済環境において、参加者が現行の市場慣行に基いて取引データの投入および決済を行えたことを確認いたしました。

(2) 個別のアンケート結果

一部の参加者より決済の遅延・未決済が発生したとの回答を頂きました。ただし、いずれも投入データ不備、作業手順相違等を要因とするものであり、試験そのものの問題点を指摘するご意見はありませんでした。

2. 本番稼働に向けて

当研究会としましては、第1回および第2回総合運転試験を通じて、本番稼働に向けた準備が整ったものと考えています。

なお、第1回総合運転試験終了後の評価において、大口内為取引にかかる「月末日の早期化ルール」の取扱等について参加者間で認識の共有を図ることとしていた事項については、全国銀行資金決済ネットワークによる検討結果・評価を踏まえて、市場参加者への周知を図って参りたいと考えております。

以上

<照会先>

短期金融市場取引活性化研究会幹事（三菱東京UFJ銀行）川久保 康 03-6268-1652

平成 23 年 9 月 29 日

一般社団法人全国銀行協会
事務システム部
外国為替円決済制度管理室

次世代 RTGS（第 2 期対応）運用確認試験における紳士協定
への影響に関する評価について

- 9 月 19 日の標記試験における当座勘定（同時決済口）での決済が「支払指
図電文の送信に関する申合せ（紳士協定）」に与えた影響を調査するために実
施したアンケート調査においては、試験参加銀行全行から紳士協定への影響
はなかった旨の回答を得た。

したがって、当制度としては、上記回答および第 1 回（7 月 18 日）の評価
を踏まえると、次世代 RTGS（第 2 期対応）に向けて、紳士協定の見直しの必
要はないと評価する。

以 上